

令和7年度 美術科 第2学年 年間指導計画

学期	月	時数	学習内容	評価規準			ICTの活用
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1学期	4月	1	・オリエンテーション				
	4月 5月 6月 9月	8	・マーブリング(1年時最後の続き) ・木製パズル	春休みの課題であった原画を提出し、アドバイスを受ける。また手順(図案決定→写し→切断→ヤスリがけ→着色→ニス塗装)を再確認する。特に電動鋸の仕様技能を上げる。	ジグソーパズルではなく一つ一つのピースが意味ある形を考案する。テーマを変形や簡略、重なり試行錯誤してピース形を成形する。その後、丁寧なヤスリがけと効果的な配色を考え、ニス塗装で仕上げる。	途中経過をタブレットに画像で収め、次の授業でどのように進めていくか明確にする。完成時には表現の意図や感じたことを文章化し、友達の意見も聞き、相互理解を図る。ワークシートにまとめ、ノートに保管する。	タブレット
	7月	3	・「ゲルニカ」からのメッセージ	ピカソの人生を紐解く。	ポールナッシュ・岡本太郎・丸木位里夫妻・バンクシーの反戦テーマの絵画も紹介し、時代背景や意図を理解する。	絵画を始めとする作品鑑賞の仕方、感じたことをワークシートにまとめる。仲間の感想も聞く。	電子黒板 Neoroom
	8月		・ポスター(有志)	テーマに合った伝えたい内容を分かりやすく且つ印象的なデザインを制作しようとする。	効果的な視覚伝達デザインをポスターカラーでいねいに表現し、完成させる。	夏季補習教室に参加し、ポスターコンクールに応募する。	タブレット
2学期	10月 11月 12月	8	・私のシーサーor(篆刻)	沖縄を中心にいるいろいろな伝統を調べ、「自分の守り神を作る」をコンセプトにこまかい表情や体軀をアイデアスケッチする。テラコッタ調かつ焼成の必要のない粘土を使い、具現化する。	途中段階で試行錯誤や軌道修正を加えながら、自分のイメージに近づけていく。授業ごとに作品を画像に収め、家で客観的に観察し、続きの作業に生かしていく。各種のヘラや水分、保管方法に注意して細部まで緻密に表現する。	出来上がった作品を鑑賞し、制作の振り返りや友達の作品の良さを認め、多様性を知る。感想をまとめ、次課題に生かす。	タブレット
	12月	2	・錯視図形	錯視図形の意味と種類、著名なもの名称や錯視絵画の巨匠:エッシャーの作品を堪能する。	錯視図形の学習から応用や変形をして実際に多義図形を制作する。	友達の作品や文字絵やだまし絵まで範囲を広げ、発想や工夫を鑑賞する。	電子黒板 書架カメラ
3学期	1月 2月	8	・文字絵 ・創作漢字 ・ピクトグラム	錯視図形の学びを発展させ、万人に理解し得るユニバーサルデザインを考える。すでにある世界共通のマークやイメージ等を調べ、どの分野に取り組むか考える。	数多くの参考作品から自分のテーマ(漢字・言葉・動作)＝イメージを明確にする。工程の途中途中で作品を画像に収め、家で客観視し、授業の具体的な作業課題を見つける。	学習発表会に展示し、友達の作品を鑑賞し、感想をワークシートにまとめ、3年時制作への意識を高める。	電子黒板 書架カメラ
	3月	2	・日本の美術用語【1】	建築物、絵画、仏像等、日本美術の原点から基礎知識を理解する。	大切な用語や画像には図や模写を取り入れ、制作の目的や当時の人々に思いを馳せる。	自分のノートにまとめ、定期考査に向けて何度も見直す。	電子黒板 Neoroom

評価計画

【各観点ごとの評価方法】

評価資料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・授業観察 ・ポスター ・資料収集 ・定期考査	・授業観察 ・制作過程(作品) ・完成作品 ・ワークシート(振り返り)	・授業観察 ・ノート ・アイデアスケッチ(原画) ・提出物